

壊れゆく“若者たち”

『File.42 デジタル症候群 ~ネット売買によるヒトの感覚欠如』

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii



フリーアプリの利用に関するアンケート ジャストシステム調べ

メルカリと言えば、いまやインターネット世代で知らない人はいないでしょう。ネット上で基本的に消費者同士が売買を行うフリーマーケットCt o Cサービスで、アプリダウンロード数はすでに日米で7500万に達しています。具体的にはメルカリはフリーマーケットの場所を提供しており、販売のやり取りは全て個人に委ねられます。これにより社会現象とも言える問題を引き起こしています。

メルカリではフリーマーケットの名のもとに、誰でも、なんでも出品して売買することができることから（メルカリ規約上の出品禁止商品あり）、先般

問題になったのは「現金売買」です。これは要するにクレジットカードを利用して現金を買う形であり、なんとなつてもブラックに近いですがグレーなのです（レア硬貨の購入のような例もあるため）。マネーロンダリングの温床にもなり兼ねない事象でもありました。これは大きな話題となり、その後、禁止事項となりましたが、その規制後も領収書が売られたり、入金済のSuic aが売られたりと、イタチごっこが続きました。そして、この夏にはなんと「読書感想文」や「自由研究」が販売されていたのです。本来、言うまでもなく、学びを得る学生のためのものであり、これらの宿題を代行して売る側も売る側ですが、買う側も買う側です。当たり前ですが、読書感想文の購入者は決済権の無い子供ではなく、親です。親が「子供と一緒に宿題をしてあげられる時間が無いから」と感想文



Profile
 東京都大田区生まれ。
 英国ウエールズ大学MBA（経営管理修士）。
 日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。
 ㈱グッドクロス取締役COO
 長年コールセンター運営に携わり、人と人のコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。
 beccall1031642012088
<http://www.beall.jp>

をヒトから購入するのです。これが現代のコミュニケーションと対策なのでしようか。これは絶対に間違っていない。読書感想文そのものだけではなく、どのような時間をかけて、どのように宿題を済ませていくかというのも「学び」です。ましてや安易にお金で解決するという手法を得て、自分でやったというウソを教えることとなります。

ネットの台頭であらゆる選択肢が増えており、答えの出し方も多様化している中、個人のモラルに依存するのは極めて危険であると考えます。誰かを許したら、誰かが真似するという危険な連鎖が目に見えます。このようなプラットフォームを提供する側が、モラルを意識しなければ、日本はドンドン壊れていくと考えます。